



新型コロナウイルス感染症対策を含めた 風水害時の避難についてご協力をお願いします！

昨年の台風19号では、強風などに不安に感じ自主的に避難される方のために、一部の小学校が避難場所として開設されました。新型コロナウイルス感染症の影響下では、感染リスクを考え「3密」を避けた避難行動を考える必要があります。

一人ひとりができる感染症対策と避難についてまとめましたので、ご協力をお願いいたします。

【事前準備】

● 避難について考えましょう ～避難とは、「難」を「避」けること～

- ・ 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ・ 被害発生の恐れがない場合、「自宅避難」を考え、備蓄品を多めに準備します。
- ・ もしもの浸水に備え、自宅の2階以上へ避難（垂直避難）します。
- ・ 可能であれば、避難場所ではなく、親戚・知人宅に避難することを事前に決めます。

● もしもの時に備えましょう

① ハザードマップを確認しましょう

- ・ 事前に、自宅周囲の浸水発生等の危険性を確認します。

② 避難時の持出品を準備しましょう ～備えるバッグに感染症対策を～

- ・ 食料などの持出品に、マスクやアルコール消毒液、体温計を追加します。
- ・ 気温や湿度が高いときは、熱中症対策のため水分などを多めに準備します。



【避難行動】

● 台風が接近したり、大雨が降ってきたら

① 積極的な情報収集に心がけましょう

- ・ テレビやラジオのほか、気象庁や横浜市HP・防災情報Eメールを活用します。
- ・ 台風が接近するなど、避難場所を開設する場合は、区HP等でお知らせします。

② 避難するときは ～危険を感じたら早めに行動を～

- ・ 食料等のほか、感染防止に必要なもの（マスク等）を各自が持参します。
- ・ 体調管理をするために、体温計を忘れずに持参します。



～ マイ・タイムラインを作成しましょう ～

横浜市ではR2年6月に、風水害に備えて、事前にご家族等で話し合いながら行動計画を作ることができる「マイ・タイムライン作成シート」を作成しました。市HPに掲載していますので、ぜひご活用ください。 QRコードはこちら



※ 本資料を地域で掲示していただける場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

お問合せ先：旭区役所総務課
TEL：954-6007 / FAX：951-3401